

### 石原都知事が訪台 陳水扁總統と会談

【台北＝山本雄史】東京都の石原慎太郎知事は19日、台湾の馬英九新總統の就任式出席のため、台北入りした。同日は陳水扁總統と都と台湾の関係強化について会談。石原知事は「台湾を第2の香港にしてはならない。」（陳總統からは）

とにかく台湾は台湾なんだ、決して中国ではないという強い意志を感じた」と会談後に述べた。石原知事は20日、馬新總統の就任式に出席する。  
会談で、陳總統は「石原知事は台湾の觀光振興に大きく貢献してくれた。中国からの（政治的な）圧力に關係なく、台湾の縁の下での力持の役割を果たしてくれた」と感謝の意を示した。また、陳總統から日台友好促進の功績で外国人に贈られる最高勳章「特種大授章勳章」を授与された。

産経新聞（平成 20 年 5 月 20 日）

### 「台湾・馬總統は 北京と同じ認識」 石原知事、就任式出席 【台北＝山本雄史】台湾

を訪問している東京都の石原慎太郎知事は20日、台北市内で馬英九新總統の就任式に出席した。台北ドームで行われた就任演説で、馬新總統が中国国民を「13億の同胞」と表現したことに、石原知事は「あの言い分は結局、北京政府と同じ認識」などと感想を述べた。同行記者団の質問に答えた。  
石原知事は馬新總統の印象について「台湾人とアイデンティティーが違ってくる」と述べ、「国民党が台湾に来て60年と云うが、台湾はもっと昔からあった」と指摘。馬新總統が掲げる「中台融和」路線に対しては「『台中合作』で第二の香港にならなければいいが」と懸念も示した。

産経新聞（平成 20 年 5 月 21 日）

無断転載禁止